



自分を好きになることから

「自己肯定感」という言葉をよく耳にするようになりました。本校の3・9大作戦「心をつなぐ」における目指す児童の姿も「**自他を認め、自己肯定感を高める**」です。学校評価、児童質問紙（6年学力テスト）の結果を見ると、本校の児童の自己肯定感が高めではありますが、自分のこと、自分の良さなどには意外と気付きにくいものです。

先日実施した人権教育参観日では、自他の良さに着目した授業が多く見られました。（国の違い、人権そのものを切り口に自他のことを考える授業もありました。）自分のことや相手のことを知り、違いを理解することの大切さ、そしてひとりひとりが、かけがえのない存在であることを伝えていきたいですね。

●「じゃがいもの重さもそれぞれ違うけど、みんな違うけどいいところあるんだし、いいんだよ。違って。」と夕飯の時に娘が話していて嬉しくなりました。分かりやすく、心に残る内容だったと思います。

●自分を好きだということは、恥ずかしいことではない、素敵なことなんだと子どもには思ってもらいたい。誰かを好きなことは誇っていいことだと思ってもらいたい。友達同士では恥ずかしいだろうから家族でいいから（目を見て褒める）（大好きと言いつづける）（頭をなでる）（ハグをする）などのスキンシップの機会が増えるといいなと思いました。（授業参観 保護者の感想より）

げきのないようがよかった。おもしろいし、心配するところもあったし、最後は楽しい気持ちで終われたからとてもよかった。 3年

最後の場面でラッキーが「いらないうっていわれたらひとりになっちゃう」というと教授たちが「ひとりにしない」といったところが心に残りました。

5年

演劇を通して自分の身勝手な行動や軽はずみな言動で傷つく人があるかもしれないと想像できる、結びつけることができたらいなと思いました。 保護者

劇団CAN青芸「君がいるから」

埼玉県の前団です。内容の面白さはもとより、3人でセット作りから演技まですべてをこなすエネルギーにも驚かされました。心を揺さぶられっぱなしのひとときでした。



3人の個性が出ていておもしろい。だれが何でも「大丈夫」というところが1番大切だと思った。3人でいろんなことを乗り越えてすごいと思った。これからひとりひとりを大切にしたい。 6年

チワワが飼われていてショックだと思うけど、2人の友達がいるからラッキーはこれからも楽しくくらしていけると思う。3人で仲良くしてほしい。 4年

多数のご参観、様々な視点からの感想をいただき、ありがとうございました。

遂に完成！ インクルーシブ遊具

10月末から4つのインクルーシブ遊具の利用を開始します。インクルーシブ遊具は、年齢や障がい、体格、性別など、個人のもつそれぞれの背景に左右されない、皆が平等に楽しめる遊び場の創出をめざし、設置されました。

（遊具の呼称を右のように決めました）



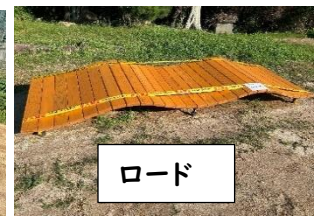
ステップ



サーキット



クライム



ロード

にこにこ西浦

地域の交流拠点をめざして



秋真っ盛り 児童が主体的に運営するチャレンジ企画で盛り上がろう！

チャレンジ企画 給食委員会 「なかよしにこにこ給食」



初めての縦割班での給食。準備も楽しくできました。何度も顔を合わせてきたのに初めて話した人もいたとのこと。大好評につき第 2 弾を計画中です。

チャレンジ企画 体育委員会 「的をねらえ」



ボールを的に当てたり、転がしたり…体カテストの課題である「投げる力」のアップを目指し、ゲーム感覚で楽しみました。

チャレンジ企画 生活運営委員会 「にこにこことばの木」

児童昇降口に掲示しています



登校中にこけて、みんなが「大丈夫？」って言ってくれたのがうれしかったです。

朝、いつも先生、見守り隊の方や親に「おはよう」「ありがとう」をいうので、みんな笑顔になります。自分もうれしい気持ちになります。

チャレンジ企画 美化緑化委員会 「掃除パワーアップ大作戦」



めあてと振り返りを大切に掃除に取り組んでいます。今回は頑張っている児童にカードが渡され、全校児童のカードがたまると、隠れた絵が出現する仕掛けになっていました。全員が一生涯懸命に取り組みました。

チャレンジ企画 放送委員会 「教えてせんぱい、西浦のこと」 インタビュー



西浦の様子や西浦小児童について地域の方にインタビューしたものをお昼の放送で流しています。地域の方の温かいメッセージに元気をいただいています。

6 年 防災学習 AR・VR体験



6 年生の防災学習の一環として AR・VR 体験をしました。併せてハザードマップの見方も地域の方と一緒に学びました。

6 年 防犯かるた受納式



防府地区防犯対策協議会様から「防犯かるた」の寄贈があり、受納式を行いました。その後 6 年生全員でかるた大会を楽しみました。

6 年 平和の語り部

戦時中のくらしを聞き、平和について考える



県、市の遺族連盟の皆様、実際に戦争を体験されている市内在住の岡村さんを講師に、戦時中のくらしについてのお話をうかがいました。戦時中の西浦の様子も教えていただき、最後に全員で「ふるさと」を歌いました。広島に修学旅行にでかける 6 年生は、この授業で、平和への思いを新たにしました。